

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 重症脳卒中急性期患者における栄養アセスメント

– Rapid turnover protein の有用性 –』

研究機関名： 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者： 脳神経外科

職位・氏名： 助教・藤田聡

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、急性期脳卒中患者に対する適切な栄養評価ツールを確立することを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、急性期脳卒中患者に対しより適切な栄養管理を可能とすると共に、より良いリハビリテーションのご提案につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報： 患者基本情報、脳卒中病型、治療方法、NIHSS¹⁾、FIM²⁾、投与栄養、採血結果、mRS³⁾、合併症の有無

- 1) NIHSS (National Institutes of Health Stroke Scale): 神経症状の程度を表す指標
- 2) FIM (Functional independence measure): 日常生活動作を表す指標
- 3) mRS (modified Rankin Scale): 疾患の重症度を表す指標

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2023年9月15日より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者： 2020年10月～2022年9月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、発症7日以内に脳卒中と診断され、入院後24時間以内の経口摂取が難しいと診断された方、およそ45症例を予定。

方法： 入院時、栄養開始時、栄養開始1週間後、2週間後、退院時、および発症後3か月の栄養状態を示す項目を診療録(カルテ)から抽出し、データを解析します。

【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師： 藤田聡 役職： 助教

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2023年10月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、患者さんご本人はもちろん、ご家族等、代諾者の方からのお問い合わせもお受けいたします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科

職位・氏名: 助教・藤田 聡

電話: 03-3468-1251 内線: PHS 7436